

# 市川西高校・市川北高校 合同地域交流1000か所ミニ集会概要報告

- 1 日時 平成22年8月6日(金)午後2時から午後4時
- 2 会場 千葉市川西高等学校 図書室
- 3 出席者 県教育委員会、近隣中学校職員、地元自治会、両校開かれた学校づくり委員会、  
両校PTA・保護者会、市川市ユネスコ協会、地域関係者等 計42名  
両校職員11名 合計53名参加

## 4 概要

### (1) 生徒による研究活動発表(市川西高校生徒)

- ・防災教育チャレンジプラン活動報告



### (2) 主催者あいさつ(市川北高等学校長)

### (3) 出席者紹介

### (4) 統合校についての説明(市川西高等学校長)

- ①進捗状況について
- ②統合校の特色等について
- ③平成23年度入学者選抜について

### (5) 地域の防犯対策について(市川警察署員)

- ・管内の犯罪・事故等について
- ・両校生徒に関わる事故については、自転車盗難などの被害に遭うケースが多い。加害事故はほとんどない。

### (6) 意見交換(グループ討議及び意見発表)

#### ①グループ1(近隣小中学校)

- ・大規模校になるので部活動が活発でパワーのある学校になって欲しい。
- ・大きな学校になっても面倒見の良さやきめ細やかで中途退学者を出さないような指導の継続を望む。
- ・ラグビー部を作って欲しい。



## ②グループ2（ユネスコ協会関係）

- ・ユネスコスクールとしてのネットワークを最大限利用して、世界の人々との交流を積極的に行ったり、環境問題や人権問題等 ESD 教育の実践を進めていただきたい。市川ユネスコ協会としても協力をしていきたい。



## ③グループ3（近隣大学・地域関係者）

- ・市川市は素晴らしい教育環境を持っている。先生方には地域をもっと理解していただき、新しい学校の教育活動に活用をしていただきたい。
- ・我々地域関係者として市川昂高校の教育活動への協力を惜しまない。



## ④グループ4（近隣自治会関係者）

- ・近隣各自治会とも防災訓練や防犯パトロールを実施している。参加者は、年配者が多いので、高校生や中学生に参加していただき協力して欲しい。
- ・地域のイベントに若い人たちが参加すると大変盛り上がる。積極的な連携をしていきたい。



## ⑤グループ5（PTA、保護者会役員）

- ・清掃活動やボランティア活動等の地域に貢献する活動を積極的に進めて欲しい。
- ・自転車の乗り方等通学マナーの指導をしてほしい。
- ・叱るだけでなくちょっとしたことでもほめることが大事である。
- ・人生の先輩として、戦争の体験談や仕事に関することなど生徒に話をするなどの機会を作っていただければ、我々地域の大人として学校のために貢献できることがあるのではないかと思います。



#### ⑥グループ6（PTA、保護者会）

- ・校内で自転車が盗まれる事故があると聞いている。盗難防止措置とともに、自律した子供を育てる指導の充実を望む。
- ・清掃活動を中心としたボランティア活動で地域に貢献できる学校になって欲しい。
- ・通学路の街灯が少なく部活動で帰宅の遅い生徒が心配である。地域と連携して街灯の設置をお願いしたい。



#### ⑦グループ7（PTA、保護者会）

- ・学業と部活動の両立を掲げているが、子供も部活動をしているが、帰宅も遅く家で勉強をする余裕はないようである。学校の勉強だけで進学が出来るのか不安である。
- ・ボランティア活動は強制的になってしまうかもしれないが、自由参加ではなく全校的に取り組むのが大事ではないか。
- ・躰としてゴミをきちんと分別して捨てることができることが大事である。学校でもゴミを分別して捨てる指導、環境を用意して欲しい。



#### (7) 講評（県立学校改革推進課）

本日はミニ集会に多数の参加をいただきありがとうございました。本日皆様からいただいた貴重な御意見を参考にしながら、地域に根ざした魅力ある学校づくりのため県教育委員会としても支援をしていきたいと思っております。

#### (8) まとめ（市川西高等学校長）

本日はいただいた貴重な御意見や具体的な提案を新しい学校づくりに生かしていきたいと思っております。本日はありがとうございました。